

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月14日(2025.3.14)

【公開番号】特開2024-87714(P2024-87714A)

【公開日】令和6年7月1日(2024.7.1)

【年通号数】公開公報(特許)2024-121

【出願番号】特願2022-202657(P2022-202657)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月5日(2025.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の動作スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

前記可動体は、前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合に、前記動作スケジュールの途中で前記動作スケジュールに基づく動作を終了可能であり、

さらに、前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に所定発光様で発光可能な特定発光体を備え、

前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光様とは異なる特別発光様または消灯様で制御可能であり、

さらに、前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電源供給の際に行われた管理者操作の態様に応じて、前記遊技不能状態を解消する場合と前記遊技不能状態を解消しない場合とを有し、

前記遊技不能条件が成立することに基づいて前記遊技不能状態に制御される場合に、前記遊技不能状態に対応する特定音を出力可能な特定音出力手段を備え、

前記特定音出力手段は、電源供給後に前記遊技不能状態を解消しない場合に、前記特定音を再び出力可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の動作スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

40

50

前記可動体は、前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合であっても、前記動作スケジュールが完了するまで前記動作スケジュールに基づく動作を継続可能であり、

さらに、前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能な特定発光体を備え、

前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能であり、

さらに、前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電源供給の際に行われた管理者操作の態様に応じて、前記遊技不能状態を解消する場合と前記遊技不能状態を解消しない場合とを有し、

10

前記遊技不能条件が成立することに基づいて前記遊技不能状態に制御される場合に、前記遊技不能状態に対応する特定音を出力可能な特定音出力手段を備え、

前記特定音出力手段は、電源供給後に前記遊技不能状態を解消しない場合に、前記特定音を再び出力可能である

ことを特徴とする遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することにある。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

20

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の動作スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

前記可動体は、前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合に、前記動作スケジュールの途中で前記動作スケジュールに基づく動作を終了可能であり、

さらに、前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に所定発光態様で発光可能な特定発光体を備え、

前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光態様で発光していた前記特定発光体を前記所定発光態様とは異なる特別発光態様または消灯態様で制御可能であり、

さらに、前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電源供給の際に行われた管理者操作の態様に応じて、前記遊技不能状態を解消する場合と前記遊技不能状態を解消しない場合とを有し、

前記遊技不能条件が成立することに基づいて前記遊技不能状態に制御される場合に、前記遊技不能状態に対応する特定音を出力可能な特定音出力手段を備え、

前記特定音出力手段は、電源供給後に前記遊技不能状態を解消しない場合に、前記特定

30

40

50

音を再び出力可能である

ことを特徴とする。

また、請求項 2 に係る発明においては、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定の遊技不能条件が成立することに基づいて、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

遊技の進行中に所定の動作スケジュールに基づいて動作可能な可動体と、  
を備え、

前記可動体は、前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合であっても、前記動作スケジュールが完了するまで前記動作スケジュールに基づく動作を継続可能であり、 10

さらに、前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に所定発光様式で発光可能な特定発光体を備え、

前記可動体が前記動作スケジュールに基づいて動作している間に前記遊技不能条件が成立した場合には、前記所定発光様式で発光していた前記特定発光体を前記所定発光様式とは異なる特別発光様式または消灯様式で制御可能であり、

さらに、前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電源供給の際に行われた管理者操作の様式に応じて、前記遊技不能状態を解消する場合と前記遊技不能状態を解消しない場合とを有し、

前記遊技不能条件が成立することに基づいて前記遊技不能状態に制御される場合に、前記遊技不能状態に対応する特定音を出力可能な特定音出力手段を備え、 20

前記特定音出力手段は、電源供給後に前記遊技不能状態を解消しない場合に、前記特定音を再び出力可能である

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50